

防災をがんばる。 それは、賃貸住宅の 安心と快適になる。

唐突ですが、私たち反省しました。
賃貸住宅は、「防災」を住む人に
任せきりだったんじゃないかって。
だから大東建託は、防災をがんばるために、
ちょっとおせっかいな人になろうと思います。
たとえばこの「防災おせっかい通信」。
もしもの時に役立つ防災の知識を中心に、
ふだんの暮らしにも使えるさまざまな
情報を少しずつ発信していきます。
防災は何かモノを備えるだけではありません。
隣の人に挨拶したり、避難できる公園に行ってみたり。
ご近所付き合いだって、立派な防災になります。
そう考えると防災って、ふだんの日々を楽しく快適に
過ごすことにも、深い所でつながっているんですね。
街のおせっかい焼き。そう言われる人が減った時代。
でもそれは、本当に大事なことだと思うから、
たとえ煙たがられてもやめるつもりはありません。
防災の知識はどれだけ貯め込んでも場所を
取らないですから、どうかめんどくさくさらずに、
防災をみなさんの毎日に取り入れてください。



ぼくらボ
防災と暮らし研究室

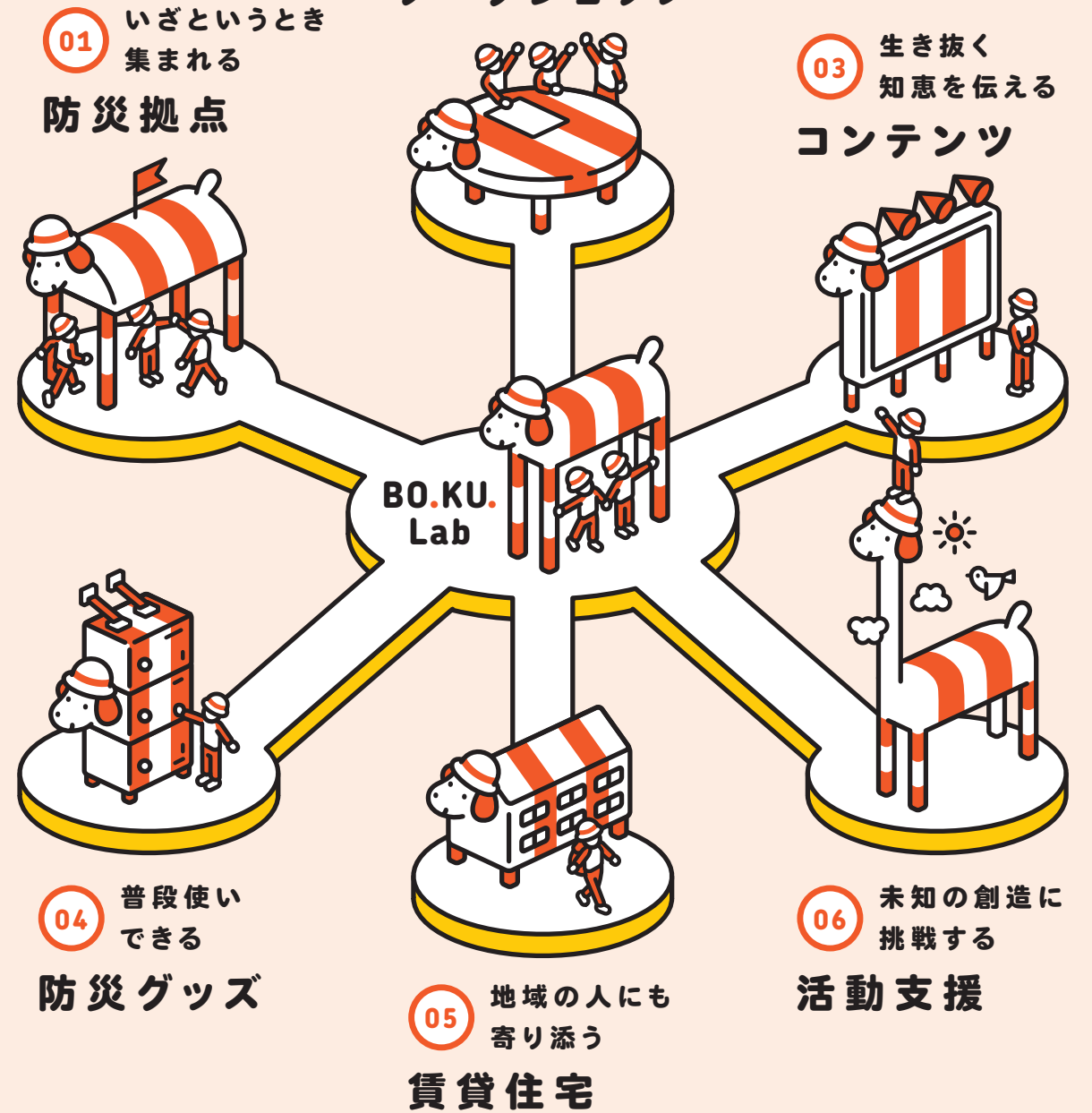
大東建託グループ



ぼくらボ 防災おせっかい通信

大東建託
グループ >>>
私たちをつなぐ
ための防災

ぼくらボ >>>
防災と暮らし研究室
の取り組み

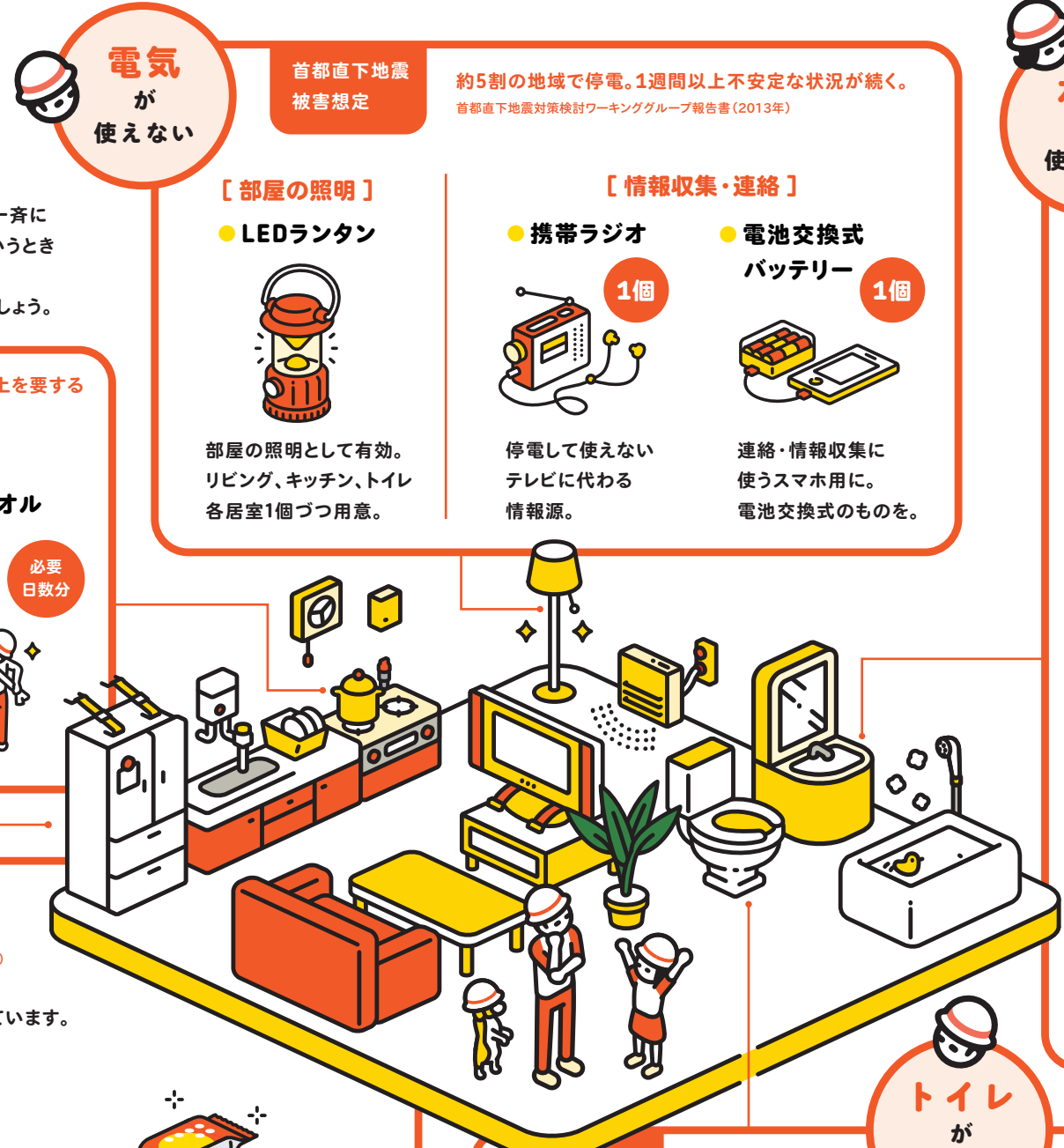


大東建託グループは
防災と暮らし研究室「ぼくらボ」
という取り組みを進めています。

詳しくはこちら▶



電気、水道、ガス、防災。 住まいの安心に、必要なもの。



電気 が使えない

首都直下地震
被害想定

約5割の地域で停電。1週間以上不安定な状況が続く。
首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書(2013年)

【部屋の照明】

- LEDランタン



部屋の照明として有効。
リビング、キッチン、トイレ
各居室1個づつ用意。

【情報収集・連絡】

- 携帯ラジオ 1個
- 電池交換式バッテリー 1個



停電して使えない
テレビに代わる
情報源。



連絡・情報収集に
使うスマホ用に。
電池交換式のもの。

ガス が使えない

首都直下地震
被害想定

管に被害が出た場合、復旧まで1か月以上を要する
首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書(2013年)

【料理】

- カセットコンロ 1個



料理やお湯を
沸かす時に。

- カセットボンベ 1人1日 0.8本 × 必要日数分



ボンベ1本で
約65分使用可。
朝昼晩15分ずつ
の使用を想定。

【お風呂】

- 大判ウェットタオル 1人1日 1枚 × 家族の人数分 × 必要日数分



お風呂代わりに
身体を拭く。

食べ物 が買えない

首都直下地震
被害想定

道路の被災と交通渋滞により、深刻な
物資不足が継続する可能性がある。
首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書(2013年)

大地震の際は、行政等による物資手配が「1週間程度」かかると想定されています。
各自で1週間は乗り切れるよう準備しておきましょう。

【発災後一週間の乗り切り方】

1 3日目 冷蔵庫にあるものを食べる

- 普段から冷蔵庫に食材を多めに買い置きしておく。
- 冷蔵庫停電時はクーラーボックスに保冷剤と食料を入れて保存する。



1週間 4 7日目 「ローリングストック法」で備蓄した非常食を食べる

- 傷みが早いものを先に食べ、4日目ぐらいからはレトルト食品、缶詰、フリーズドライ食品など日持ちする「非常食」を食べる。

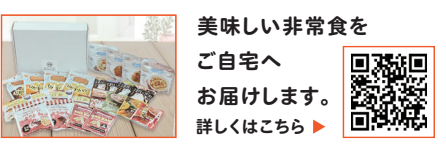


【ローリングストック法とは?】



ローリングストック法を始めたい方お勧め

ほくまる防災ていきびん



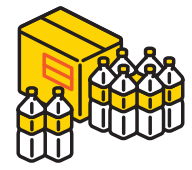
水道 が使えない

首都直下地震
被害想定

管に被害が出た場合、復旧まで数週間を要する。
首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書(2013年)

【飲料水をストックする】

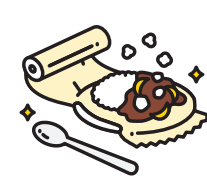
- 水 1人1日 2ℓ × 家族の人数分 × 必要日数分



必要な量を
ストックしておく。

【水の節約】

- ラップ 1個
- 口腔ケア用ウェットティッシュ 1人1日 9枚 × 家族の人数分 × 必要日数分



食器にかぶせて
洗浄水の節約に。



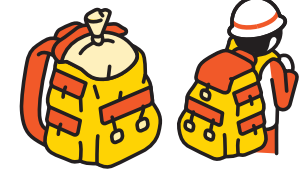
歯を拭き、
口の中を
衛生的に。



スプーンや
おはしを
拭く。

【水の運搬】

- ポリ袋 (サイズ大 1パック)
- リュック 1個



リュックの中にポリ袋やペットボトルを入れて水を運ぶ。
地震でエレベーターが止まり、
階段しか使えない時に有効。

トイレ が使えない

首都直下地震
被害想定

管に被害が出た場合、
復旧まで1ヶ月以上を要する。
首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書(2013年)

過去の地震では、管が詰まっているにもかかわらず住民がトイレを使い続け、トイレから汚水が溢れ出たという事故が起きました。
下水管の安全が確認できるまでは携帯トイレを使うようにしましょう。

【携帯トイレを準備する】

- 携帯トイレ 1人1日 4回 × 家族の人数分 × 必要日数分



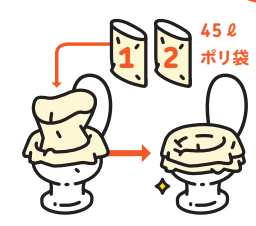
※携帯トイレには、吸水シートが入ったタイプや凝固剤を入れるタイプ等があります。

＜節約した使い方も覚えておくと有効です!＞

大便…1人1日1回、1回ごとに携帯トイレを交換
小便…1人1日3回、3回ごとに携帯トイレを交換
※節約した使い方の場合、1人1日2枚で済みます。

【携帯トイレがなくなったら、家にあるものでトイレを手づくりする】

- ポリ袋 (サイズ大 1パック)
- 新聞紙 1個
- 消臭剤 1個



1 ポリ袋を
便座に2重に
かぶせる。



2 くしゃくしゃに
した新聞紙を
ポリ袋の中に
敷き詰める。



3 用を足した後、
消臭効果の
あるものを
上からかける。



4 内側のポリ袋を
取り出し、
空気を抜いて
口を強くしぼる。

サバイバルトイレの詳しい作り方は
動画でもご覧頂けます。 詳しくはこちら ▶

